

# 第39回埼玉県都市対抗テニス大会結果

さいたま市は準決勝で川口市に敗退。全国出場は叶いませんでした。



第39回埼玉県都市対抗テニス大会が1月18日(土)、19日(日)大宮第二公園テニスコートで開催されました。昨年の滋賀大会で埼玉県勢初の準優勝を果たし、本年の青森大会出場を目指しましたが、準決勝で川口市に敗れ3位となりました。結果は残念でしたが、多くの好マッチもあり気落ちすることなく3位決定戦で戸田市に勝利して終わりました。

## 【試合結果】

○1回戦、北部地区第二代表の行田市との対戦となりました。行田市には一般男子に元国体選手と一般女子に日本リーグで活躍する選手がおり接戦が予想されました。

予想通り一般男女複は接戦となりました。一般女子の星野姉妹は中盤から引き離して勝利しましたが、男子の池田・手塚ペア序盤の劣勢を挽回できず敗れました。続く45男子の瀬戸川・神保ペア、45女子の鎌田・河田ペアがしっかり勝利し55男子の関根・白川ペアも勝利し、ダブルス4-1で勝利が確定しました。その後の男女シングルスも桃花選手、手塚選手も大接戦を勝ち切り6-1で2Rに進みました。

○2回戦は、西部地区第三代表朝霞市との対戦。恐らく、初対戦と思いますが5-0で勝利し準決勝進出を決めました。

2回戦も、西部地区で本戦連続出場の朝霞市との対戦になりました。一般女子複の星野姉妹、男子の山本・池田ペアともに終盤まで接戦が続きます。しかし、どちらも終盤に突き放して8-6で勝利しました。続く45男子も強敵相手に同じような展開となりましたが、やはり8-6で勝利し3連勝となりました。この勢いで、45女子と55男子も終始安定した試合は運びで勝利し、シングルスを待たずに日曜日の準決勝を決めました。

○日曜日の準決勝は同じ南部地区のライバル川口市との対戦。南部予選を含めて近年は連勝していますが、本戦ではさいたま市対策をしてきていて若干の不安が付き纏います。ベテラン男子は厳しい対戦が予想され、一般男女と45女子で2ポイント取れるかが勝敗を分けそうです。一般女子の星野姉妹は安定した戦いで勝利しますが、池田・山本ペアは中々突き放せず、終盤逆転されてしまいました。45女子の鎌田・河田ペアも7-5リードであったマッチポイントを逃すと流れが相手に傾き4G連取されてしまいました。勝敗は55男子に掛かります。関根・白川ペアも序盤の相手リードから必死に追い継ぎますが5-8で敗れ準決勝敗退となりました。

○続く3位決定戦は、2年連続で決勝戦を戦った同じ南部地区の戸田市と対戦となり4-1で勝利し今大会を終りました。

三位決定戦は、三年連続で戸田市との再戦です。南部予選でも決勝で戦いましたが、両者とも三決で当たるとは予想だにしませんでした、

一般女子複の星野姉妹は、昨年の全日本ベスト8の佐藤光選手と高野プロペア相手に一歩も引かずに終盤まで接戦が続きます。最後に姉妹ペアのコンビネーションが冴え9-7で金星を上げました！男子の山本・手塚ペア、45男子の瀬戸川・神保ペア、45女子の鎌田・河田ペアも続いて勝利しました。55男子の関根・白川ペアは川口戦で全力を尽くした疲れで残念でしたが、シングルスを待たずに4-1で三位を確定させました。

## ○総括

2日間、寒さ厳しい中で運営頂いた県協会及び、RUやSCU頂いた審判部の皆様に改めて感謝申し上げます。

また、選手及び役員の皆様、2日間本当にお疲れ様でした。残念ながら青森大会出場は逃しましたが、埼玉県予選を勝ち抜く厳しさ、特に優勝した翌年の厳しさを改めて味わう事になりました。

今回、優勝された川口市も、長年さいたま市や戸田市に全国を阻まれ久々の全国大会かと思いますが、埼玉県代表として活躍頂きたいと思います。

さいたま市も今回の敗戦と、今年からダブルスポイントのみになる全国大会でのレギュレーション変更に対応していくのか、直ぐに秋口から南部予選もスタートしますので、来年は宮崎大会出場を目指しますので、引き続き応援の程、よろしくお願い致します。

文責：強化部長 清水宏明

# 選手紹介



一般女子  
星野桃花 星野遥香



一般男子  
池田賢矢 山本翔太 手塚瀬留



ベテラン男子1部  
瀬戸川勲 神保和宏



ベテラン女子  
鎌田桂子 河田景子



ベテラン男子2部  
白川貴裕 関根浩王